

市民の方から寄せられた市政へのご意見や感想などを紹介します。

**質問** 夏になり気温が高くなってきましたが、熱中症にならないか心配です。猛暑の中、屋外でもマスクの着用は続けられないといけないでしょうか。

**回答** 夏場は熱中症になりやすい時期です。最近では、屋内で発生する熱中症も増えてきているので、注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症の感染対策として皆さんが着用しているマスクについても、熱中症防止の観点から、屋外で必要ない場面では外すことが推奨されています。また、屋内においても、人との身体的距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、身体的距離が確保できないときでも会話をほとんど行わない場合は、マスク着用の必要性がないことが、ことし6月に厚生労働省から示されました。

熱中症は生命に関わる病気ですが、予防法を知っていれば、未然に防ぐことができますので、次の点に注意して熱中症を予防しましょう。

熱中症の予防方法

- ①日陰やエアコンを利用し、暑さを避ける
- ②日傘・帽子を着用するなど涼しくなるよう服装を工夫する
- ③のどが渇いていなくても小まめに水分補給をする
- ④体調に合わせて行動する



詳しくは市 HP をご覧ください

健康づくり課 ☎ 24-1111

広報アンケート

「広報させば 8月号」満足度アンケート  
次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。

- ①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

応募方法

「はがき」か「Eメール」または「応募フォーム」に、  
①「広報させば」満足度アンケートの該当番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙(特集)へのご意見⑦広報紙(特集以外)や市政に関するご意見を書いて、8月22日(月)までに(消印有効)広報係へ。  
※応募は1人1通、応募者の中から抽選で決定します。発表は発送(9月中旬)をもって代えさせていただきます。

6月号のアンケート 116通

8月号プレゼント

3名様

「あいいいの栗」  
ブルーベリーゼリー6個セット



本紙2～5ページの特集で紹介している堀内フルーツファームの「あいいいの栗(ブルーベリー)」を使ったゼリーセットを3名様にプレゼントします。食後のおやつとして、季節の味を楽しんでみませんか。

食彩の里 よかばい相浦 ☎ 48-3201



左記の画像を読み込むと応募画面が表示されます。

観光動画「宇久島 Ukujima」観光映像大賞 観光庁長官賞受賞！



令和3(2021)年度、宇久島の観光振興の一環として、宇久町観光協会(会長：村上正一氏)が観光プロモーション動画として制作した、観光動画「宇久島 Ukujima」が、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」におけるBRANDED SHORTS部門で「観光映像大賞 観光庁長官賞」受賞の栄に輝かれました。

この大賞は、同映画祭に出展された687作品のうち、日本全国47都道府県で制作された観光プロモーション映像の中から「観光振興」という観点で最も創造性、振興性、話題性に優れた作品に贈られる大変価値ある賞です。

この作品では、映画「こはく」などに出演された女優の塩田みうさんが扮する現代の旅行者が、宇久島に伝わる約千年前の「壇ノ浦の合戦」で源氏に敗れた平家盛(平清盛の弟)に思いをはせながらその軌跡をたどります。今なお息づく島の人々のなりわいや文化に触れる中で、いつしか過去と現在の2つの物語がシンクロし「人がひとに戻っていく」、旅人の心が癒やされていく奇跡を描いています。

映像監督は、長崎県で活躍されているショートフィルムや観光映像の第一人者、新進若手映像作家の野上鉄児氏で、4分間の短い中で素晴らしいストーリーにまとめ上げられます。



観光プロモーション映像といえば、景観の美しさや食のおいしさ、体験の楽しさなどをPRするのが一般的ですが、この作品は、平家盛が安住の地を求めてたどり着いたという伝説が、島内に多くのゆかりやいわれを残し、今もなお島の暮らしに息づいていることから、家盛を主人公として、漂着した彼が島の自然や風土によって癒やされていく軌跡・奇跡を島の暮らしとともに描いています。

「島」の歴史や当たり前の暮らしが、旅人の心を癒やす美しい映像作品「宇久島 Ukujima」をあなたの目で確かめてみませんか！



観光動画「宇久島 Ukujima」

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 124

聞いて「徳」する話 85 人のために行動できること

私がバスに乗っていた時のことです。夕方の帰宅ラッシュでバスの中は大混雑。そんな中、買い物帰りでたくさんの荷物を持った年配の女性が乗ってこられました。私はバスの後ろの方に座っていましたが、人が多く、席を譲るにも周りの人に迷惑が掛かるのではないかと考え、行動することができずにいました。

そのとき、私の近くに座っていた高校生が「僕はもうすぐ降りるので！」と年配の女性に声を掛け、すぐさま席を譲っていました。その高校生も手には荷物を持っていましたが、ためらうことなく行動を起こすことができた高校生に対して尊敬の念を抱くとともに、行動する前にいろいろと考え、結局行動に移すことができなかった自分自身を恥ずかしく思いました。

その高校生は、席を譲った後、5つほど先のバス停で降車しました。その際、年配の女性が改めて「ありがとう」と高校生に感謝を伝える様子を見て、心が温かくなりました。

行動を起こす前にいろいろと考えることは必要なことですが、人のためになるようなときは、即座に行動に移せるような人間になりたいと感じました。(匿名希望)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。

佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856